

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(令和元年度)

活動テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	感じる・触れ合う・創造する～アートカードで健康長寿～		
団体名	特定非営利活動法人 竹箒の会 (2000年8月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	1,712,410 円		
助成額(当初交付)	1,500,600 円	助成額(決算)	1,471,610 円
活動目的	「アートには正解がない」ことに着目、アートカードは、自由な発想をし、相手をありのままに受け入れるというコミュニケーション力を育てるツールとして最適と気づき、元々は小学生向けの学習プログラムであったアートカードゲームを、どの年代でも使えるプログラムとして再構築、とりわけ孤立しがちな、またフレイル状態の高齢者等へのコミュニケーション・スキルアップに寄与したいと考え着手しました。		

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	<p>2018年8月、第一歩を踏み出し、徐々に活動を広げてきました。当時より第1・3火曜日を定例研究日と定め、研修・研究を続けております。この助成を受けて以降も同様に定例活動日を継続、現在に至っています。</p> <p>①定例研究会20回、新メンバー研修会2回 計22回(別紙詳細) アートカードコミュニケーターとしてのスキルアップ研修・演習等</p> <p>②アートカードゲーム実施回数(別紙) ほっとくらぶ、阿佐ヶ谷きずなサロン、あしかりクリニック、マイルドハート、ゆうゆう今川館、ゆうゆう高円寺南館、高井戸団地集会室出前講座、 計11回 まだまだ派遣講習料をいただくところまでいたっていないので、ボランティアでアートカードゲームを提供</p> <p>③わが街アートカード作成作業(2019年11月～2020年3月) 作成物別添 わが街アートカードにふさわしい場所、もの、等の選定作業 11月～12月(3名×5回) 選定箇所・物に対する調査、撮影・借り出し交渉作業11月～1月(7名×16回) 活動交通費支給対象 候補作品の撮影・写真借り出し作業 1月～2月(4名×20回) 活動交通費支給対象 わが街アートカード選定の最終作業 3月(3名×4回)</p>
------------------	--

活動名	感じる・触れ合う・創造する～アートカードで健康長寿～
-----	----------------------------

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>助成をいただいたことで、多くの成果を得られました。</p> <p>①アートカードゲームを進めていくコミュニケーターの育成ができました。もともとすでに歩み始めていた15名ほどのメンバーに加え、新たな仲間が参入、総計で33名のメンバーとなりました。</p> <p>②いただいた助成金で、区内福祉施設・ケア24・ゆうゆう館等にDMをさせていただき、また当方からの積極的なアプローチで少しづつアートカードゲームが何たるかが知られるようになり、区内福祉施設、ケア24から今後の企画に入りたいとの声が寄せられています。デイケアでの知的関心を刺激する新たなプログラムとして期待していただいているようです。試験的に開催させていただいた施設で高評価を得ていますので、今後徐々にこの新たなアートカードゲームが注目されるようになっていくと感じています。高評価の一部をご紹介しますと、表情が豊かになった、今までほとんど感情の起伏がみられなかった方が気に入ったカードへの強い関心が見られた。ほとんどお話しをされなかった方が自分から昔話を始められたなど。</p> <p>③わが街アートカード作成に郷土史博物館の方々も大きな関心を寄せて区ださり、積極的にご協力をいただきました。また関係の方々よりアドバイスをいただき、わが街アートカードでのゲームを行って杉並区内のアート作品を再認識していただき、また実際にそのカードの実物を見るアート散歩を行うことを次期への課題として企画している。頭と体の両方を使うことによる認知症予防に資するとの研究者のご見解も得ています。</p>
-------	--

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>①研究会は継続実施し、コミュニケーターのスキルアップを目指していきます。</p> <p>②アートカードゲームの提供は今までの実績をご紹介しつつ、より積極的に提供先を増やしていきたいと考えています。コミュニケーターたちも積極的に自身の関係している施設への情報提供をしています。将来的には、コミュニケーターの活動費がいただけるようなプログラムにしていきたいと考えています。目標としては、月に5回程度、区内に限定せず活動を広げていければと考えています。</p> <p>③さらに進めてわが街アートカードを作品化する方策を模索していきます。どの程度のレベルの印刷にするのか、何部程度作成するのか、そのカードをどの様に活用するのか、その費用はどこから捻出するのか、またそれを販売するのか等、今後検討していきたいと考えています。</p> <p>④わが街アートカードを使用して、アートカードゲームとアート散歩を組み合わせ「認知症予防プログラム」として認定されるような活動を模索していきたいと考えています。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

		予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	1,500,600	1,471,610	
	団体負担金	190,000	240,800	
	活動収入	50,000		
	その他の収入			
	計	1,740,600	1,712,410	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	内訳・増減理由
	謝礼金等	760,000	760,000	講師謝礼(鈴木1回・奥村1回・法林4回・丹2回) 各20000円×8回=160000円 わが街アートカード作成謝礼 12000円×50か所=600000円(実際には67か所撮影)
			うち 助成額 760,000	
	消耗品費	354,000	328,110	アートカード代、多少の割引をしてくださいました。 (11800×25部=297000円) 予算上は324000円 資料用紙・印刷インク代21,807円(※) 事務用品代 9303円(※) ※ゆうゆう高円寺南館備品を使用、最終的に使用分を検証し返却したものです)
			うち 助成額 328,110	
	旅費 ・交通費			
			うち 助成額	
	印刷費	150,000	150,000	
			うち 助成額 150,000	
	通信運搬費	16,000	16,800	郵送切手代84円×200(※) ※ゆうゆう高円寺南館備品を使用、最終的に使用分を検証し返却したものです。10月より切手代82円⇒84円にupのため予算オーバー)
		うち 助成額 16,000		
使用料・賃借料	28,600	25,500	詳細別添(3月コロナによる研究会中止等で回数減)	
		うち 助成額 25,500		
備品費				
		うち 助成額		
その他の経費	432,000	432,000	(助成分)活動交通費(撮影箇所同行交通費延べ192回(1回1000円) (自己資金)企画推進活動費 240000円	
		うち 助成額 192,000		
計	1,740,600	1,712,410	執行率 (決算額/予算額) 98.4%	
		うち 助成額 1,471,610	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること	

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。 <input type="checkbox"/> 適切であった <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。 新たなコミュニケーターも想定の人数を確保できましたし、わが街アートカードのデータ作成はほぼ想定通りに進められました。ただ、このゲームを提供できる施設、団体等の開拓は努力はしある程度の目処は立っているものの、十分とは言えない状態であったので、来年度はそこにさらに注力する予定です。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。 高千穂大学の公開講座に参加を養成されたり、岩手県立美術館よりアートカードを高齢者に向けて行うことについての聞き取りがありました。福祉士悦・ケア24等、このプロジェクト提供先より大きな関心を寄せていただいています。また同様の目的を持って活動している対話型美術鑑賞のグループより大きな関心を寄せられ、当活動にも合わせ参加している方もおられます。
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
①何か地域の役に立ちたいと考えていた方が、アートカードコミュニケーターとして活動の場を広げ、貴重な仲間を増やせたこと。 ②認知症予防をはじめとするデイケア等施設での活動プログラムとして大岐な関心を持っていただいたこと。	
その他	問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。
	この助成を受けていることでの大きな信頼感をお持ちいただけたことが非常に大きな効果です。いくら内容的に自信があっても、独自で行うことには資金面での負担もさることながら、区のお墨付きという信頼感が非常に大きく、支えられました。感謝です。
問8 自由意見	今コロナ騒動で活動を休止せざるを得ない状態で、歯がゆい思いをしています。わたくし共が第一義に提供したいと考えているフレイル状態あるいはそうなりかけている方々に対し、何ができるかと考えてもなかなか実際の活動につながらないもどかしさを抱えています。わが街アートカードを制作できる術を模索したいと考えています。

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(令和元年度)

活動テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	すぎ西井戸端倶楽部		
団体名	すぎ西井戸端倶楽部 (2019年8月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	376,209 円		
助成額(当初交付)	901,160 円	助成額(決算)	319,809 円
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域在住高齢者の要支援・要介護者の早期発見 ・地域在住高齢者の自主グループなどの活動支援 ・地域在住高齢者の介護予防 		

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	<p>2019年 対象者:地域在住高齢者</p> <p>9.11 シャレール荻窪 参加者 15名 血圧測定、下肢筋力測定、握力測定、体操(45分程度)</p> <p>9.13 都営井草3丁目アパート 参加者 13名 血圧測定、下肢筋力測定、握力測定、体操(45分程度)</p> <p>10.9 シャレール荻窪 参加者 12名 体操(60分程度)+介護予防講義</p> <p>10.11 都営井草3丁目アパート 参加者 7名 体操(60分程度)+介護予防講義</p> <p>10.18 リバービレッジ杉並 参加者 11名 血圧測定、下肢筋力測定、握力測定、体操(45分程度)</p> <p>10.23 井草湯 参加者 3名 血圧測定、下肢筋力測定、握力測定、体操(45分程度)</p> <p>11.8 都営井草3丁目アパート 参加者 4名 体操(60分程度)+介護予防講義</p> <p>11.13 シャレール荻窪 参加者 12名 体操(60分程度)+介護予防講義</p> <p>11.15リバービレッジ杉並 参加者 14名 体操(60分程度)+介護予防講義</p> <p>11.27 井草湯 参加者 5名 体操(60分程度)+介護予防講義</p> <p>12.11 シャレール荻窪 参加者 12名 体操(60分程度)+介護予防講義</p> <p>12.13 都営井草3丁目アパート 参加者 7名 体操(60分程度)+介護予防講義</p> <p>12.20 リバービレッジ杉並 参加者 15名 体操(60分程度)+介護予防講義</p> <p>12.25 井草湯 参加者 8名 体操(60分程度)+介護予防講義</p> <p>2020年</p> <p>1.8 シャレール荻窪 参加者 12名 体操(60分程度)+介護予防講義</p> <p>1.10 都営井草3丁目アパート 参加者 5名 体操(60分程度)+介護予防講義</p> <p>1.17リバービレッジ杉並 参加者 14名 体操(60分程度)+介護予防講義</p> <p>1.22 井草湯 参加者 3名 体操(60分程度)+介護予防講義</p> <p>2.7 そんぼの家S 井荻 参加者 4名 血圧測定、下肢筋力測定、握力測定、体操(45分程度)+介護予防講義</p> <p>2.12 シャレール荻窪 参加者 12名 体操(60分程度)+介護予防講義</p>
------------------	---

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域在住高齢者の身体機能等の現状の把握 ・地域在住高齢者の集いの場の形成 ・地域在住高齢者のつながりの形成 ・地域在住高齢者の健康増進及び介護予防 ・地域在住高齢者の介護予防に対する普及啓発
-------	--

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>・地域在住高齢者の活動の化を目指すために必要なことは、医療・介護・福祉専門職が一体となって地域在住高齢者の活動に対し、エンパワメントをすることである。しかし、医療・介護・福祉専門職は、サービス提供するという意識が強い。そのため、高齢者のグループが自主化を目指す際に必要な「高齢者に役割を担ってもらおう」という視点が乏しくなってしまう。</p> <p>翌年度以降の活動予定は、会議を重ねながら各地域で地域在住高齢者の活動の自主化を目指す。各地域で月1回を目処に実施する。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

		予算額(円)	決算額(円)	備考
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	901,160	319,809	
	団体負担金			
	活動収入		56,400	参加費:300円×188
	その他の収入			
	計	901,160	376,209	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	内訳・増減理由
	謝礼金等	110,000		*ロゴ作成を、無償でお引き受けいただいた。 *新型コロナウイルスの影響によるイベント未開催
			うち 助成額	
	消耗品・備品費	339,280	164,058	内訳) 握力計:17,180×4=68,720 血压計78,936 文具類16,402 *ストップウォッチ・セラバンド購入せず
			うち 助成額	164,058
	旅費 ・交通費			
			うち 助成額	
	印刷費	115,000	166,617	内訳) ①手帳2種各300部 49,500×2+440(振込手数料) =99,440 ②手帳2種各300部 18,810+48,367=67,177 *増刷したため増額、ポスターは作成せず *参加費(56,400円)を経費の一部に充当
			うち 助成額	110,217
	通信運搬費	5,520	164	内訳)切手
		うち 助成額	164	
使用料・賃借料	264,000	21,460	内訳)会場費 *無料や安価の会場を使用。また、新型コロナウイルスの影響で一部未実施となった。	
		うち 助成額	21,460	
その他の経費	67,360	23,910	内訳)保険21,750+雑費2,160 *イベント未開催(新型コロナウイルスの影響)のため、Tシャツ作成せず。	
		うち 助成額	23,910	
計	901,160	376,209	執行率 (決算額/予算額)	41.7%
		うち 助成額	319,809	

活動名	すぎ西井戸端倶楽部
-----	-----------

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input checked="" type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input checked="" type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
	↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・開始する前に同程度の質を担保できるようなマニュアルが必要であった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり2月末～3月末は実施できなかった。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input checked="" type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input checked="" type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
	↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。
	サービスを提供するという意識が強いせいか、エンパワーメントの実践、役割分担、できることは自分で などの実践が少なかった。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input type="checkbox"/> 広がった <input checked="" type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった
	↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に体操できるような場所があると良い。 ・もっと開催してほしい。
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
	地域の集いの場の形成
	問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。
	・助成金がなければ、活動自体を開始することができなかった
その他	問8 自由意見

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(令和元年度)

活動テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	お出かけ企画		
団体名	遊ぼう会 (2016年10月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	5,088 円		
助成額(当初交付)	63,000 円	助成額(決算)	5,088 円
活動目的	荻窪など周辺地域におけるグループ活動のグループ間やグループ会員同士の交流、新規会員及び歩行に不安を感じているなど家に引きこもりがちな高齢者への活動勧誘。		

1 活動の実施状況

実 施 状 況	<p>1. お出かけ企画</p> <p>①11月29日 ”深川不動尊”に東京メトロ東西線利用によるお出かけ企画に 総勢 26名参加。内 サポーター 8名が 18名の高齢者をフォロー。 荻窪駅に集合の後、東西線で門前仲町まで移動 ”深川不動尊見学の後 ランチ会食(深川めし)後、再び東西線にて荻窪駅の戻り 同場所で解散。</p> <p>②3月31日に”江戸東京博物館” に30人乗りの貸切バスにて見学する お出かけ企画を立ち上げたが、募集直前に 新型コロナウイルスにより中止に追い込まれ 開催できず。</p> <p>2. クリスマス会 (ゆうゆう荻窪館と共催) ゆうゆう荻窪館利用者と遊ぼう会メンバーとクリスマス会に参加した。</p> <p>3. 連絡会 計7回開催 2019年5月17日、6月12日、9月4日、25日、10月30日、2020年1月14日 以上6回は「ゆうゆう荻窪館」を利用させていただく。 3月4日は、ウイルスによる館閉鎖により「荻窪会議室」にて連絡会を開催した。</p>
------------------	--

活動名	お出かけ企画
-----	--------

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>* 年度末(令和2年3月31日)にバス借り上げによる”お出かけ企画”を開催し、歩行に不安を抱える高齢者と付き添うサポーターを 荻窪など周辺地域から掘り起こし新たに地域活動に参加する人たちを発掘できればとの目的で企画した。</p> <p>* そこで 地域グループ活動の代表者及び遊ぼう会サポートメンバーによる”連絡会”を開催するとともに、バス借り上げによる”お出かけ企画”のプレ企画として 令和元年11月に公共交通機関利用での深川不動尊へのお出かけ企画を開催 地域グループ活動メンバー間相互の交流 及び 新たなサポーター募集活動を行い、お出かけ参加者 18名に対し サポーター8名の参加を得ることが出来た。</p> <p>* また年末には ゆうゆう荻窪館にてのクリスマス会に参加し、年度末開催のバスによるお出かけ企画をPRし参加を呼び掛けたものの 新型コロナウイルスによるイベント自粛により メイン企画が開催不可能になりました。</p>
-------	--

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>* 新型コロナウイルスによ開催できなかつたバス借り上げの”お出かけ企画”を、来年度には是非開催したい。そのニーズは高いと思う。</p> <p>* また来年度は、地域活動に参加される方を新たに掘り起こすべく ”お出かけ企画”以外の新たな企画を立ち上げ試みる予定です。</p> <p>* チラシの配布範囲を隣接地域に広げて より多くのサポーターを募っていく。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

		予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	63,000	5,088	
	団体負担金			
	活動収入			
	その他の収入			
	計	63,000	5,088	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名	お出かけ企画
-----	--------

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	内訳・増減理由	
	印刷費	6,000	3,801	3,801	* 令和2年3月30日 3,801円【チラシ印刷代 (A-4 両面印刷 300部) 3,581円 振込手数料 220円】
			うち 助成額		
	使用料・賃借料	53,000			* マイクロバス借り上げによる”お出かけ企画”を3月31日に「江戸東京博物館ツアー」を企画していたが 新型コロナウイルスにより 企画開催が不能となったため 経費不使用。
			うち 助成額		
耗品費・その他費	4,000	1,287	1,287	* 令和元年11月27日 540円【行事保険費 18名分 (11/29深川不動尊へのお出かけ企画 26名参加)】 * 令和2年2月8日 269円【コピー用紙 A-4 500枚/束】 * 令和2年3月17日 478円【コピー用紙 A-4 500枚/束】 計 1,287円	
		うち 助成額			
計	63,000	5,088	5,088	執行率 (決算額/予算額) 8.1%	
		うち 助成額		予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること	

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input checked="" type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input checked="" type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	* マイクロバス借上げによる”お出かけ企画” 3月31日に「江戸東京博物館ツアー」を企画していたが、新型コロナウイルスにより 企画開催が不能となったため。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input checked="" type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。
	* マイクロバス借上げによる”お出かけ企画” 3月31日に「江戸東京博物館ツアー」を企画していたが、新型コロナウイルスにより 企画開催が不能となったため。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がり了吗か。
	<input type="checkbox"/> 広がった <input checked="" type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。
	* プレ企画としての深川不動尊へのお出かけ企画において、サポーター8名の参加を得ることが出来た。
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
	* 荻窪遊ぼう会の活動及びお出かけ企画に 新たに参加された高齢者、ボランティアが少なくなかった。
	問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。
	* コロナウイルスにより メイン企画が開催不能となったため 助成金効果は図れませんが、今回作成できた「サポーター募集チラシ」(300部)を荻窪周辺より隣接地域に範囲を広げて配布し 活動に生かして行きたい。
その他	問8 自由意見

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(令和元年度)

活動テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	荻窪地域の健康増進と人材育成プロジェクト		
団体名	荻窪家族プロジェクト「百人カサロン」 (平成 27 年 8 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	337,476 円		
助成額(当初交付)	373,000 円	助成額(決算)	333,500 円
活動目的	(1) 定期的に開催している「暮らしの保健室」に体組成計を導入し、地域住民の健康維持・増進の拠点とする。 (2) 地域課題についての勉強会や交流コンサートを開催し、新たな地域活動の担い手を発掘・育成する。		

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	<p>■地域住民の健康維持・増進</p> <p>(1) 体組成計による「測定会」の開催 (添付写真1参照) 3月18日(水)午後1時半から、荻窪家族レジデンス集会室で地域住民11人が参加して開催。助成金で購入した血圧測定器で各人の血圧を測った後、体組成計で体脂肪率、筋肉量、体水分量、推定骨量、肥満度などを測定した。その結果と判定をプリントアウトして各人に渡し、比較し合うと共に自分の課題を知ってもらった。今後、定期的(毎月最低1回)に測定を行い、測定値の改善を目指す。</p> <p>(2) ストレッチ・筋トレ体操の説明図作成 (添付写真2参照) 上記の「測定会」の後、理学療法士、看護師らがストレッチ・筋トレ体操のやり方を分かりやすく示す説明図について協議した。ストレッチ・筋トレだけでなく、口腔機能(摂食・嚥下)や認知機能の維持・改善も追加することにした。協議を受け、理学療法士が写真を活用した説明図を試作。それをベースに改善を加え、5月から参加者への配布を目指す。</p> <p>■地域活動の担い手発掘・育成</p> <p>(1) 勉強会の開催 (添付写真3参照) 3月3日(火)午後2時半から荻窪地域区民センターで、「個人情報保護法と地域活動」のテーマで開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染防止のため計画を変更し、次のような変則開催とした。会場は荻窪家族レジデンス集会室とし、参加人数は当初予定の40人を7人(ケア24荻窪、荻窪地域区民センター協議会、町会、荻窪家族プロジェクト)に大幅縮小した。講師は田園調布学園大学の村井祐一教授(人間福祉学部長)で、講演はビデオ撮りした。参加できなかった区民が後日観られるようにするため、村井教授はその旨了承済み。</p> <p>(2) 交流コンサートの開催 (添付写真4参照) 3月1日(日)午後2時から、荻窪家族レジデンス集会室で「クラシックギターの名曲を楽しむ」と題したコンサートを開催した。奏者は地元の西田小学校卒業の境暁一氏。コロナウイルス感染予防を理由にキャンセルが多くあったが、参加者は18人。入場時のアルコール消毒、マスク着用、換気を徹底した。</p> <p>残念ながら3月7日(土)に予定していたフォークソング演奏はコロナウイルス感染予防でキャンセルが相次いだため中止とした。2つのコンサートは演奏終了後、参加者と演奏者による交流茶話会を予定していたが、これもウイルス対策で中止した。</p>
------------------	---

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>■地域住民の健康維持・増進 体組成計で体脂肪率や筋肉量などを測ることで、参加者は自分の身体の課題を知ることができ、課題改善へ向けた意欲を持てた。測定とストレッチ・筋トレ体操を併せて行うことで、参加者の健康維持・増進が期待できる。</p> <p>■地域活動の担い手発掘・育成 勉強会、交流コンサートともに開催は各1回だけで、しかもコロナウイルス感染防止のため縮小開催としたため、期待した効果・成果は小さかった。いずれも人の交流を通じ顔が見える関係を築き、地域課題を認識してもらうのが狙いのため、今後、継続して開催することが必要と考える。</p>
-------	--

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>■地域住民の健康維持・増進 体組成の測定とストレッチ・筋トレ体操はこれから継続的に実施することが課題。令和2年度は多職種が関与している「荻窪暮らしの保健室」を中心に最低毎月1回は実施する予定。ストレッチ・筋トレ体操の説明図を5月には完成させ、参加者に配布できるようにする。</p> <p>■地域活動の担い手発掘・育成 勉強会は「個人情報保護法と地域活動」といったどの地域でも共通するテーマだけでなく、荻窪地域に関係するテーマの深掘りが課題。令和2年度は1～2カ月に1回程度開催する予定。交流コンサートは2～3カ月に1回は開催したい。コンサートと茶話会はセットとし、参加者同士の交流を促進する計画。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

		予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	373,000	333,500	
	団体負担金		176	消耗品負担額
	活動収入	10,000	3,800	
	その他の収入			
	計	383,000	337,476	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)		内訳・増減理由
	謝礼金等	40,000	33,800		勉強会は1回実施したが、交流コンサートはコロナウイルス感染防止のため1回のみ開催。そのため1回目コンサート参加費3800円を返金。
			うち 助成額	30,000	
	消耗品費	89,000	89,176		176円自費負担 コロナウイルスの影響で非接触型体温計が品薄になり、購入できなかった。
			うち 助成額	89,000	
	旅費 ・交通費				
	印刷費	20,000			完成形としての印刷に至らず、20000円返金。
			うち 助成額		
	通信運搬費				
	使用料・賃借料				
備品費	234,000	214,500		タニタ体組成計DC-430セパレートタイプ 予定価格(234000円)が値引きされて214500円になったため、19500円返金。	
		うち 助成額	214,500		
その他の経費					
計	383,000	337,476		執行率 (決算額/予算額) 88.1%	
		うち 助成額	333,500	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること	

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。
	新型コロナウイルス感染防止のため、計画は中止や縮小開催を余儀なくされた。しかし、その中で「荻窪暮らしの保健室」では購入した体組成計の測定会を開催したほか、理学療法士やケア24職員ら多職種による検討会の結果、測定値の記録帳、ストレッチ・筋トレ体操説明図の原案を作成した。交流コンサートは予定した2回のうち1回は開催したほか、勉強会は大幅に縮小して開催し、講師の講義をビデオ撮りした。参加できなかった人も観られるようにすることができた。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input checked="" type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。
	コロナウイルス感染防止のための自粛要請もあり、参加者の交流を狙いとした勉強会やコンサートは交流会を中止せざるを得ず、「大変残念でした」との声が聞かれた。その点では理解者や支援者の広がりには期待通りにはいかなかった。今後、継続的に実施することにより広がるものとする。
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
	いずれの活動も「助け合い、支え合い」の地域づくりを目指している。体組成計の設置をきっかけとした健康維持・増進プロジェクトはいわばその基盤づくり。人材発掘・育成は地域の担い手づくりとして貢献するものとする。
	問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。
	助成金により、改めて地域活動団体として目指すものを明確にすることができた。また、活動を通して企画者、参加者双方が情報・体験を共有でき、新しい展開を考えるようになった。
その他	問8 自由意見
	今回は助成金申請～受理～交付申請～決定のプロセスに時間がかかった。活動期間が極めて短期間にならざるを得ない中、新型コロナウイルスの感染防止対策に沿って予定していた活動を中止・縮小せざるを得なかったのが残念だった。

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(令和元年度)

活動テーマ	<input type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input checked="" type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	① パパ・ジジ向け子育て応援ワークショップ「子連れ・孫連れご近所散歩マップ作り」 ② 不朽の名作！絵本読み聞かせ会(感染症の影響により未実施)		
団体名	木の芽のいえ (2019年12月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	140,542 円		
助成額(当初交付)	168,000 円	助成額(決算)	134,306 円
活動目的	① パパ・ジジ向け子育て応援ワークショップ「子連れ・孫連れご近所散歩マップ作り」 ② 不朽の名作！絵本読み聞かせ会(感染症の影響により未実施)		

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	<p>①活動名: パパ・ジジ向け子育て応援ワークショップ「子連れ・孫連れご近所散歩マップ作り」 日時: 令和元年2月15日(土)14:30～ 場所: 木の芽のいえ(東京都杉並区荻窪3-35-28) 対象者: 小さなお子さん・お孫さんのいる男性保護者の方、多世代交流に関心のある地域の方 参加人数: 19人(うちスタッフ4人) 内訳: 大人11人(3人)、子ども8人(1人) 大人のうち男性5人(1人) 活動の目的: 子どもを軸に、普段地域交流の機会が少なくなりがちな男性が、世代をまたいで交流できる場を提供。 活動の具体的実施内容: ・イベント実施にあたり、地域のゆうゆう館・子どもプラザ・きずなサロン・児童館・ひととき保育施設などに対し、地域の保護者や高齢の方が多世代交流施設に期待すること等のニーズをヒアリング。 ・「育児をする男性・小さな子どもを連れて高齢の男性にとって、過ごしやすい街とはどういうところか?」というテーマで参加者と意見交換をしつつ、子連れで街を歩くときに抱える悩みや工夫、お勧めルート・スポットを参加者間で共有。 ・子連れで行くお勧めの散歩道やスポットについて、北は井荻から南は久我山まで、東は阿佐ヶ谷から西は吉祥寺方面までのエリアで、子どもの年齢別(0～2歳/3～4歳/5歳～)にお勧めの散歩道やスポットを紹介しあい、地図に記載。 ・イベント後には、Goggleマップに地域情報を記載し、データをホームページやFacebookで公開。 ・イベント参加者は、区内に住む1歳～小学校低学年までの子どもをもつ保護者の方(男女)、荻窪地域で地域交流活動を行っている高齢の方、保育士をしている方等、様々な年齢・性質の方。</p>
実 施 状 況	<p>②活動名: 不朽の名作！絵本読み聞かせ会(感染症拡大の影響によりイベント実施自粛) 日時: 3月28日(土) 14:30～ 場所: 木の芽のいえ 対象者: 小さなお子さん・お孫さんのいる保護者の方、多世代交流に関心のある地域の方 実施有無: 感染症拡大を受けイベント実施を自粛(延期) 活動の目的: 「良い絵本」を知りたい現役保護者の方と、昔の良い絵本を知っている高齢者の方が、絵本を介して交流できる場を提供。また、絵本読み聞かせの地域活動を行っている方との連携。 活動の具体的内容(実施): ・ゆうゆう館等と協力し、荻窪地域において絵本読み聞かせを行う高齢者の方を講師としてお声がけ。 ・児童館等にチラシ配布。 活動の具体的内容(未実施) ・お勧めの絵本を紹介しあい、人気があった絵本を、講師の方にその場で読んでもらう ・お勧め絵本をもってきてくれた人には、「絵本紹介カード」を書いてもらい、絵本の写真をその場でポラロイドカメラ等で撮影して、カードに掲載してもらう。このことで、お勧めの絵本の情報蓄積を行う。</p>

活動名	①パパ・ジジ向け子育て応援ワークショップ「子連れ・孫連れご近所散歩マップ作り」 ②不朽の名作！絵本読み聞かせ会(感染症の影響により未実施)
-----	--

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>助成を受けたことによる効果:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント時には、助成金で購入したテーブルや椅子を用いて、作業を実施することができた ・模造紙など大きな紙を用いて意見交換を行い、文具品(シール、付箋、マジック等)を使って具体的に手を動かしながらディスカッションを実施できたことで、より参加者間のコミュニケーションが活発になった。 ・イベント実施中に子どもが遊ぶことのできる備品を整備(フロアマット、絵本、本棚、ホワイトボード等)することができ、子連れの保護者の参加を促すことができた <p>地域への貢献:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のゆうゆう館・子どもプラザ・きずなサロン・児童館・ひととき保育施設など、子どもや高齢者とかかわりがある地域団体や施設の方々と連携。特に、地域の保護者や高齢の方が、多世代交流施設に期待することなどをヒアリングでき、多世代交流施設へのニーズが高いことから、今後もイベント等で連携していくことを確認できた。 ・子どもを軸に、普段地域交流の機会が少なくなりがちな男性が、世代をまたいで交流できる場を提供できた。 ・パパが子連れでイベントに参加する場を設けることで、ママが休める時間を提供できた。
-------	---

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<ul style="list-style-type: none"> ・(①について)作成した地域の情報(お勧めの散歩道やスポット等)を、ホームページやFacebook以外の手段で、イベントに参加していない方と幅広く共有する手段を考えたい。特に、高齢者の方とも幅広く共有するため、次回は紙でもマップを作成し、地域の施設に配布したい。 ・(①について)今後、イベント時に子連れでお勧めの場所として紹介された飲食店や施設に、子連れで訪れてよい場所として紹介してよいか打診したい(1件実施するも断られたため未達成)。 ・(①について)パパ向け・ジジ向けのイベントのニーズが非常に高いことがわかったため、今後も継続的に実施していきたい。 ・(②について)感染症拡大の懸念がなくなった時点で、未実施となった活動②を実施したい。

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

		予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	168,000	134,306	
	団体負担金	84,000	6,236	・別添1参照 ・予算額については(助成金支給額の計算方法に従い)千円未満切り上げ
	活動収入			
	その他の収入			
	計	252,000	140,542	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名	①パパ・ジジ向け子育て応援ワークショップ「子連れ・孫連れご近所散歩マップ作り」 ②不朽の名作！絵本読み聞かせ会(感染症の影響により未実施)
-----	--

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)		内訳・増減理由
	謝礼金等	24,250			感染症拡大に伴う活動自粛のため
			うち 助成額		
	消耗品・備品費	147,100	139,197		文具類、作業机・椅子、ホワイトボード
			うち 助成額	134,306	
	通信運搬費	20,000			
			うち 助成額		
使用料・賃借料	30,000			賃料発生なしで実施	
		うち 助成額			
その他の経費	30,000	1,345			
		うち 助成額			
計	251,350	140,542		執行率 (決算額/予算額)	55.9%
		うち 助成額	134,306	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること	

活動名	①パパ・ジジ向け子育て応援ワークショップ「子連れ・孫連れご近所散歩マップ作り」 ②不朽の名作！絵本読み聞かせ会（感染症の影響により未実施）
-----	--

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input checked="" type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input checked="" type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。 活動①については、当初の目的通りに実施できた。活動②については、参加者(特に高齢者)への感染のおそれから、イベントの自粛を行ったため、達成できなかった。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input checked="" type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。 活動①については、地域団体(ゆうゆう館や児童館等)と情報交換や連携ができ、当初の計画以上につながりをつくることができた。しかし、活動②については、参加者(特に高齢者)への感染のおそれから、イベントの自粛を行ったため、達成できなかった。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。 ・男性向けイベントは年齢を問わず是非継続してやってほしい、というニーズが多かった(参加した男性だけでなく、その家庭内の女性や、地域団体等からも同様の声あり) ・現役世代の親が、高齢者を巻き込んで行う活動のニーズが、高齢者や地域団体側から多かった ・子育て中の女性から、単なる参加者としてではなく、簡単な企画に自ら関わられる活動をもっとやってほしい、というニーズがあった
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
(2.の再掲) ・地域のゆうゆう館・子どもプラザ・きずなサロン・児童館・ひととき保育施設など、子どもや高齢者とかがわりがある地域団体や施設の方々と連携。特に、地域の保護者や高齢の方が、多世代交流施設に期待することなどをヒアリングでき、多世代交流施設へのニーズが高いことから、今後もイベント等で連携していくことを確認できた。 ・子どもを軸に、普段地域交流の機会が少なくなりがちな男性が、世代をまたいで交流できる場を提供できた。 ・パパが子連れでイベントに参加する場を設けることで、ママが休める時間を提供できた。	
問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。	
(の2.再掲) ・イベント時には、助成金で購入したテーブルや椅子を用いて、作業を実施することができた ・模造紙など大きな紙を用いて意見交換を行い、文具品(シール、付箋、マジック等)を使って具体的に手を動かしながらディスカッションを実施できたことで、より参加者間のコミュニケーションが活発になった。 ・イベント実施中に子どもが遊ぶことのできる備品を整備(フロアマット、絵本、本棚、ホワイトボード等)することができ、子連れの保護者の参加を促すことができた	
その他	問8 自由意見

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(令和元年度)

活動テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	みま～も杉並 気づきのネットワーク		
団体名	みま～も杉並 気づきのネットワーク (2019年8月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	2,062,000 円		
助成額(当初交付)	1,982,000 円	助成額(決算)	1,982,000 円
活動目的	「みま～も杉並 気づきのネットワーク」は高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指します。高齢者が安心して暮らせる地域とは、住民・商店街・自治会・各関係機関が有機的に連携し、高齢者の変化にいち早く「気づく」ことが出来る街です。		

1 活動の実施状況

* 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。

実 施 状 況	<p>①65歳以上を対象に、見守りキーホルダーを登録し、元気なうちから専門職につながる安心を提供する。 ②地域住民対象に「地域づくりセミナー」を定期開催し、地域の専門家を講師に迎え、「気づき」や「見守り」について、共に考える場を設け、気づきの目を育てり普及啓発を進める。 上記①②の活動に向け、準備を進めた。</p> <p>【2019年8月1日】 15:00～17:00 SOMPOケア南阿佐ヶ谷 会議室 東ブロックセンター長会 みま～も杉並の活動への賛同 目的の確認 具体的内容の共有 【2019年8月28日】 11:00～12:30 ケア24阿佐谷 みま～も杉並 気づきのネットワーク打ち合わせ 事業全体の共有・必要物品・運営方法等々の検討 【2019年9月24日】 13:30～15:30 セシオン杉並 ケア24東ブロック職員学習会(センター長・推進委員) おおた高齢者みまもりネットワーク(みま～も)の取り組みについて おおた高齢者みまもりネットワーク(みま～も)代表・副代表による講演。杉並区での展開についてGWを実施。 【2019年10月30日】 13:30～16:00 たすけあいネットワーク全体連絡会への参加 澤登久雄氏の講演を聞き地域住民による地域づくりや見守りのネットワークについて理解を深める 【2019年11月1日】 13:30～15:30 SOMPOケア南阿佐ヶ谷 みま～も杉並 気づきのネットワーク打ち合わせ 協賛企業の選定について・協賛団体規程・みま～も杉並会則・事業の紹介文について 【2019年11月19日】 13:00～14:00 おおもり語らいの駅見学 代表2名 【2019年12月16日】 10:00～12:00 ケア24阿佐谷 みま～も杉並 気づきのネットワーク打ち合わせ 協賛団体について・見守りキーホルダー・申請書の仕様について 【2019年12月21日】 14:00～16:00 おおもりみま～も 地域づくりセミナーの見学 【2020年1月9日】 19:00～20:30 おおたみま～も運営会議参加 【2020年1月16日】 15:30～17:00 SOMPOケア南阿佐ヶ谷 みま～も杉並 気づきのネットワーク打ち合わせ 協賛団体について・見守りキーホルダー 周知用チラシの作成について ワーク打ち合わせ 協賛団体の参画状況・見守りキーホルダー 周知用チラシの作成進捗状況確認・第1回運営会議の内容検討 【2020年2月26日】 13:30～15:00 SOMPOケア南阿佐ヶ谷 みま～も杉並 気づきのネットワーク打ち合わせ 協賛団体の参画状況・見守りキーホルダー 周知用チラシの作成進捗状況確認・第1回運営会議中止の決定 【2020年3月3日】 9:00～11:00 SOMPOケア南阿佐ヶ谷 みま～も杉並 気づきのネットワーク打ち合わせ 協賛企業の申請状況・みま～も杉並の紹介チラシの内容について検討 2020年3月13日 13:30～14:30 SOMPOケア南阿佐ヶ谷 みま～も杉並 気づきのネットワーク打ち合わせ 協賛企業の申請状況・みま～も杉並の紹介チラシの内容について検討・関連機関への周知について</p>

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>阿佐ヶ谷圏域・高円寺圏域の65歳以上の高齢者を対象に、見守りキーホルダーと地域づくりセミナー開催をとおして「地域住民の互いに気かけあう関係性」と「地域の医療・福祉・介護の専門職の伴奏型支援」による地域共生社会の仕組みづくりができた。 地域づくりに賛同し協働していく地域の企業6社の協賛を得ることが出来た。</p>
-------	---

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>新型コロナウイルスの影響で、3月に予定していた運営会議、4月に予定していた見守りキーホルダーの登録開始が延期になってしまった。事業が再開できる時期がきたらすぐに動き出せるよう、4月以降できることとして、「みま～も杉並」の活動の関係機関への周知と協力のお願いと協賛企業への事業説明を実施して。事業を開始した際の事務局の設置は今後の課題である。また、準備した見守りキーホルダー以上の登録希望者となった時の対応、事業継続のためには地域の協賛企業を更に募っていく必要があると考えている。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

	予算額(円)	決算額(円)	内訳	
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	1,982,000	1,982,000	キーホルダー・マグネット・申請書・チラシ等
	団体負担金	200,000	80,000	4月以降の講師料・会場費として計上。協賛金の今年度中の入金6社中2社となった。
	活動収入			
	その他の収入			
	計	2,182,000	2,062,000	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名	みま～も杉並 気づきのネットワーク
-----	-------------------

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	内訳・増減理由
	謝礼金等	120,000		令和2年4月以降のセミナー講師謝礼金として計上。4月以降、協賛金による支出を予定している。
			うち 助成額	
	消耗品費	1,718,000	1,774,053	キーホルダー:1,513,600円 マグネット:211,086円 ※キーホルダーの送付先を6か所にしたため、送料約6000円が増えている。 文具類:49,367円(団体負担)
			うち 助成額	1,724,686
	印刷費	264,000	286,187	申請書:216,150円(143,275円+72,875円) キーホルダーチラシ:27,995円 周知用チラシ:42,042円 ※実務を考慮し申請書の部数を増やし、2種類のチラシを作成したため予算より多くなっている。
			うち 助成額	257,314
使用料・賃借料	80,000		令和2年4月以降のセミナー会場費として計上。4月以降、協賛金による支出を予定している。	
		うち 助成額		
その他の経費			1,760	振込手数料440円×4回(団体負担)
		うち 助成額		
計	2,182,000	2,062,000		執行率 (決算額/予算額) 94.5%
		うち 助成額	1,982,000	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。 R2年4月からの見守りキーホルダーの登録の準備を整え、関係機関(杉並区、警察、消防、医療機関、民協等)への周知と協力の依頼を行った。 地域づくりセミナーについては協賛企業を募り、みま～も杉並の活動を伝え、地域の企業6社の協賛を得ることが出来た。4月以降のセミナー開催のため、3月に運営会議を予定していたが新型、コロナのため、延期となった。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。 ①65歳以上を対象に、見守りキーホルダーを登録し、元気なうちから専門職につながる安心を提供する。 ②地域住民対象に「地域づくりセミナー」を定期開催し、地域の専門家を講師に迎え、「気づき」や「見守り」について、共に考える場を設け、気づきの目を育て普及啓発を進める。 上記2つの活動をいつでも開始できる準備が整っている。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。 地域の協賛企業がみま～も杉並の活動に賛同し、地域づくりを一緒に行なってくれる仲間となった。 「セミナーを通して地域の方たちと一緒に活動できるのが楽しみ」 「地域住民が専門職と元気な時からつながれる安心感がある。」
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
	地域住民と地域企業、専門職が主体的に関り地域づくりができるしくみを作った。
問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。	
見守りキーホルダー登録を無料で区民に提供できる準備ができた。	
その他	問8 自由意見